

第 642 回：【4 年生向け】卒論提出まであと 3 か月。今、何をする？（MK）

4 年生の皆さん、卒業論文の提出締め切りまで約 3 か月です。

突然ですが、インキュベーション（incubation）という言葉を知っていますか？

日本語では「孵化」という意味で、一見すると卒業論文には関係のないように思えますが、実は研究や創作のプロセスにおいて、とても重要な考え方です。

インキュベーションとは、ある問題について一度じっくり考えたり文章を書いたりしたあと、あえてその問題から少し離れて時間を置くことを指します。いったん手を止めて別のことをしたり、日を置いてから改めて文章を読み返したりすることで書いているときには気づかなかったことに気づいたり、考えが整理されたりすることがあります。

卒業論文でも、書いたものをすぐに完成とするのではなく、時間を置いて読み返し、考え直すことがとても大切です。

卒業論文を「締め切り直前に一気に書けばいい」と思っている人がいるかもしれませんが。筆者も学部生の時はそう思っていました。試験勉強やレポート課題も直前に一気に終わらせることが多く、卒業論文も同じように進めるつもりでした。しかし、卒業論文はそれまでの課題とは違い、一気に書こうと思ってもなかなか上手く書けませんでした。

その理由の一つは、書いたものを時間を置いて読み返し、修正する時間が必要だからです。実際に文章を書いているときには「これで大丈夫だろう」と思っているても、

翌日に読み返すと、「ここの説明が足りない」「この段落は何を言いたいのかわからない」といったことに気がきます。そして結局、ひと段落まるごと書き直すこともありました。

つまり、卒業論文では「書く時間」だけでなく、書いたものを寝かせ、読み返し、書き直す時間も必要なのです。

では、提出まで約 3 か月ある今、何をすればよいのでしょうか。まずは、今の自分の卒業論文がどこまで進んでいるのかを確認してみましょう。

今の時点でチェックしておきたいこと
レベル 1

- ・研究テーマを簡潔に説明できる
 - ・「なぜこの研究をするのか」を説明できる
 - ・何を明らかにしたいのかが決まっている
 - ・おおまかな章立てができている
- これらができていればベースは整っている状態。自信を持って進めましょう！

レベル 2

- ・調査・分析の方法が決まっている
 - ・必要なデータ・資料がそろっている
 - ・自分なりの中間締め切りを決めている
- もしチェックがつかなかった項目があれば、そこから取り組んでみましょう。

レベル 3

- ・とにかく文章を書いてみる
- ・書いた文章を定期的に読み返してみる
- ・困ったことがあれば指導教員に相談・確認する

第 642 回：【4 年生向け】卒論提出まであと 3 か月。今、何をする？（MK）

ここまで来たら、あとは書いて、読み返して、直して、また書く。その繰り返しです。

卒業論文は多くの人が思っている以上に時間のかかる作業です。提出まで時間がある今のうちに進めましょう。応援しています！